

第2回SDGs午後市

日 3月12日(土)

正午～午後3時

詳しくは、生涯学習センター公式サイトをご確認ください。



詳細はこちら



毎月第1日曜日は「家読の日」です。
青空読書会の中止

3月6日(日)の青空読書会は、神奈川県のみん延防止等重点措置が延長となったため中止となります。

生涯学習センターで働く会計年度任用職員の募集

内 受付事務

詳しくは、生涯学習センター公式サイトをご確認ください。



詳細はこちら



図書館の新刊



著者 安藤俊介



著者 額賀 濤



監修 山本みなみ
シナリオ 三条和都
まんが さいとうしげき

図書館情報

問 (83)7024

開 午前9時30分～午後5時

休館日は生涯学習センターと同じ

おはなし会

日 3月24日(木) 午後2時30分

日 3月26日(土)、27日(日)

本のリサイクル市(雑誌系)

松田文化財探訪

続・町指定文化財とその周辺 その26

文化財保護委員 鈴木 一行

中尾農道に沿って(十二) 最明寺史跡公園⑤

～お善光寺さん～

施餓鬼会(最明寺例祭)が終了すると、護摩堂跡に祀られていた阿弥

陀如来立像は厨子に安置されたままの姿で庶子の家々を回ります。「最

明寺(西明寺)が金子の地に移る際、人々は善光寺如来を模した仏像

を造って巡行供養を始めた」という伝承が地元にはあります。これが正

しいとすると、庶子の人々は五百年以上になつてこの行事を守つてき

たことになります。人々はこの仏像を「お善光寺さん」と呼んで大切に

してきました。

平成8年に傷みの目立つ仏像を修理するため、まずは県立博物館の薄

井和男氏に鑑定を依頼し、その後鎌倉の仏師瀧本光國氏に修理をお願い

しました。鑑定の結果、「仏像は鎌倉や小田原などの在地系の仏師によ

つて室町時代後期に造立されたもの」とされました

そして、修理によって胎内に銘文

が発見され、「仏像は寛文7(1667)年に加賀という鎌倉仏師によ

つて修理されていた」ということが判明しました。

最近、薄井氏に教えて頂いたのですが「加賀は代表的な鎌倉仏師で、

江戸期には世襲されていた。そして寛文の頃の加賀は鎌倉の浄光明寺・

東慶寺の仏像修理など、広く活躍していた」とのこと。また、氏が監修

した『山北町の仏像調査報告書』には、寛文9年の加賀の作品二昧が紹

介されており(共に般若院蔵)、当地域との関係性の強さを感じさせま

す。お善光寺さんは平成9年に町の重要文化財に指定されました。しかし

現在、伝統文化を支えてきた庶子自治会の会員数は最盛時の四分の一程になつてしま

いました。巡行供養を続ける家も減少しているような状態になつていま



お善光寺さんを祀る(史跡公園)